

磯部 裕子 (いそべひろこ)・プロフィール

大学卒業後、8年間幼稚園の教員として保育者生活を送る。その後、青山学院大学大学院前期博士課程、後期博士課程を修了ののち、現在宮城学院女子大学教育学科教授。大学で保育者養成に携わりながら、幼稚園や保育所をフィールドとして保育者と共に実践研究を進めている。近年は、保育環境研究の一環として、園建設の研究や食環境の研究にも携わっている。

東日本大震災後に保育者仲間と共に立ちあげた「みやぎ・わらすっこプロジェクト」では、被災地の保育の再生のための支援を続けている。

専門領域は、保育カリキュラム論。保育環境論。

【主な著書】

□単著

『教育課程の理論』(萌文書林 2003)

『震災と保育 I』(ななみ書房2016)

□共著

『教育学への視座』(萌文書林 1999)

『ナラティブとしての保育学』(萌文書林 2007)

『脱学校化社会の教育学』(萌文書林 2009)

『学びが深まる実践へ』1.2 (ななみ書房 2023)

□監修

『食からひろがる保育の世界』(ひとなる書房 2007) 他多数